

## 木造建築合理化システムの認定結果について

公益財団法人 日本住宅・木材技術センター

### 1. はじめに

木造建築の振興を図るため様々な対応策が講じられておりますが、その一つとして、木造建築の受注・設計・生産・供給の合理化が強く求められております。

当センターにおいては、合理化した木造建築の生産供給システムを対象とした「木造建築合理化システム認定事業」を平成元年から実施し、前回までに958システムを認定しました。これまでに認定されたシステムを使って供給した住宅は、累計で76万棟を越えます。

### 2. 認定の対象

次の二つのタイプを認定の対象とします。

①基準性能タイプ：木造軸組工法による建築物を生産・供給することができる合理化されたシステム

- イ 生産・供給において合理化された提案があること
- ロ 性能が建築基準法施行令の関係法令及びフラット35の関係技術基準に適合していること
- ハ 規模・平面・立面に選択性を有すること
- ニ 供給後に長期性能保証・維持管理補修サービス等ができること

②長期性能タイプ：基準性能タイプの基準に加え、長期優良住宅の認定基準（長期使用構造等の基準）の次の性能を有するシステム

- イ 劣化対策（等級3相当）
- ロ 耐震性能（耐震等級2以上 構造躯体の倒壊防止）
- ハ 維持管理・更新の容易性（維持管理対策等級3）
- ニ 省エネ対策（等級4）

### 3. 申請システムの審査結果

今回、申請のあったシステムについて、当センターに設置した審査委員会で審議した結果、令和7年1月1日付けで、長期性能タイプ1システムを更新認定しました（別紙参照）。

問い合わせ先：公益財団法人 日本住宅・木材技術センター  
認証部 増村、板橋  
TEL 03-5653-7581  
FAX 03-5653-7582

## 第36C次 木造建築合理化システム 認定リスト

### ■更新認定……長期性能タイプ

認定番号	認定システム名 ／認定取得者名	システムの概要	所在地 ／連絡先
L1901-01	ナチュレーコⅡ  (株)出水リフォームFactory	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 厚板面材による根太の省略により加工の省力化及び現場の効率化を図り、構造材・羽柄材の機械プレカットにより施工の省力化を図っている。</li> <li>2. 設計・積算からプレカットまでのCAD/CAMシステムの連動とコンピューターの一括管理により生産性の向上及びデリバリーの効率化を図っている。</li> <li>3. 木造建築合理化システム認定規程による長期性能タイプの基準を満たしている。</li> <li>4. 完成後の維持管理体制が整っている。</li> </ol>	埼玉県  049-231-3997

## システムの名称：ナチュラルコⅡ

## 第1章 システムの基本的な考え方

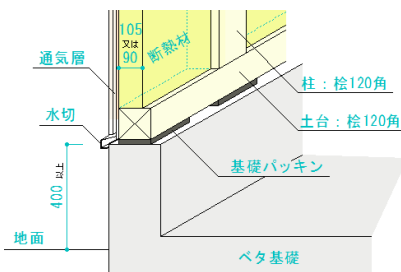
長期に渡り管理しやすく劣化しにくい住宅で、地震や火災などにも強く、断熱性能を上げて快適な住宅を提供するために、仕様を標準化することにより現場の施工効率を上げ品質を保ち、コストを抑え合理化を図るものである。

- 耐震等級3
- 劣化対策等級3
- 維持管理等級3
- 温熱環境(断熱等性能等級5、一次エネルギー消費等級6)
- 意匠設計からプレカット設計のデータ連動による生産性の向上
- 構造材の標準化による資材のコスト削減

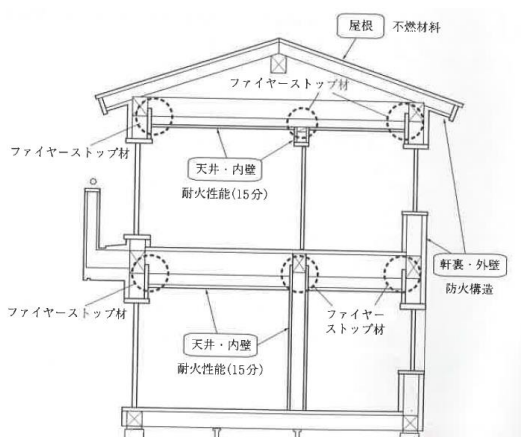
## 第2章 システムの概要

## 2. 1 構法概要

- ①基礎：べた基礎
- ②土台：加圧防腐・防蟻処理／桧／桧集成材 120mm×120mmを用いる。
- ③床下換気：基礎パッキン
- ④外壁通気構造
- ⑤省令準耐火構造



住宅金融支援機構 木造住宅工事仕様書 に従い施工する  
 屋根：不燃材(令第196条の2の第1号及び2号)  
 外壁及び軒表：防火構造(法第2条第8号)  
 天井及び壁：15分耐火とする  
 各部ファイヤーストップを施工する事  
 設備器具：照明、コンセントなど防火被覆を行う事



## 2. 2 構造計画上の仕様

- ①柱 材：桧／桧集成材 120mm×120mmを用いる。通し柱には欠損を考慮し金物仕口とする  
 横架材：製材、構造用集成材
- ②耐力壁：novopanSTPⅡ／構造用合板（厚9mm以上）等の面材、筋かい120×45
- ③床構造：厚床合板(根太レス)とする。

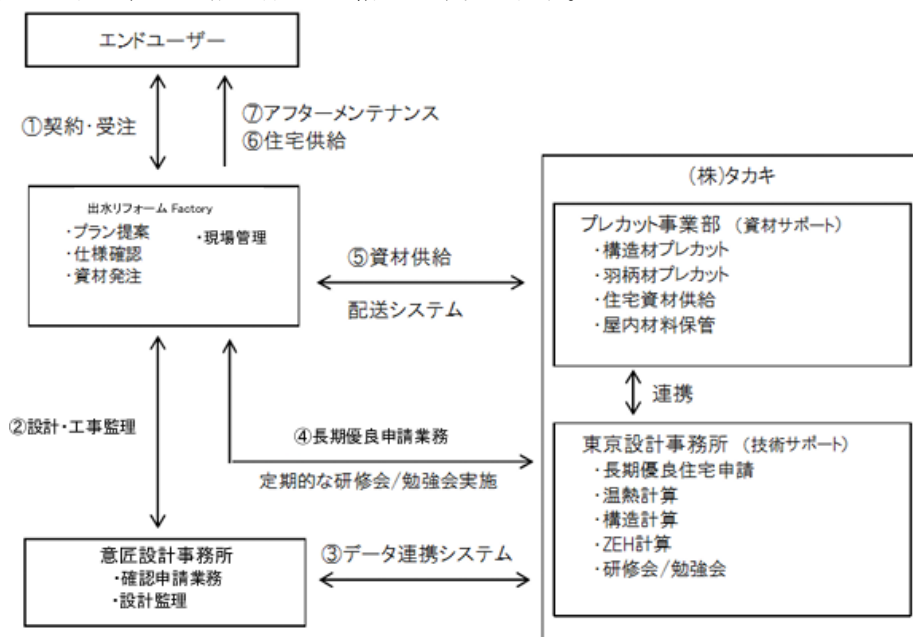


## 2. 3 構造計画

- ①平面モジュール：1P=1000mm
- ②構造ユニット：ユニットは5P×5P以下を標準とする。
- ③耐力壁の構成：耐力壁長さは1P以上、外周壁は面材耐力壁及び筋かいとする。内壁間仕切壁は筋かいとする。準耐力壁は設けない。
- ④ARCHITREND ZERO Ver4を用いた構造設計により安全確認を行う。

## 第3章 供給体制について

- ①自社の提案シートを元にエンドユーザーに最適の提案を行い契約を結ぶ。
- ②出水リフォームFactoryより意匠設計事務所に確認申請を依頼する。
- ③意匠設計事務所と(株)タカキにてCADデータの連携システムが構築されている為に迅速的に構造計算、温熱計算の結果がでる。
- ④長期優良住宅の申請を(株)タカキにて行う。  
プレカット会社による構造計算は現場の納まりを熟知し数多くの物件に対応している為、現場でトラブルがなくスムーズに進む。
- ⑤申請が終わると出水リフォームFactoryと(株)タカキにて配送システムが組み入れ屋内保管された材料を必要な時に必要な分だけ細かく配送されて現場が綺麗で余計な材料もない為、効率よく現場を進める事ができる。これは着工前から引き渡しまで全て配送システムにて行う。
- ⑥出水リフォームFactoryにて現場管理を行い、仕様確認、工程管理を自社オリジナルのチェックシート活用し品質を保っている。また、(株)タカキにて専門的な分野の事は研修会/勉強会などで現場監督の知識向上をはかりどの監督でも同じことができる体制を構築している。
- ⑦アフターメンテナンスは自社オリジナルの保守計画書にて決められた時期にチェックシートを元にチェックを行い住宅の維持保全/修繕を35年以上行う。



## 第4章 維持管理について

### 4. 1 維持管理補修サービス

定期点検の実施 (標準的な対応)

点検：2年・5年・10年に無償点検を実施する。2年以内の点検は、顧客の要請により行う。11年目以降は、5年毎に35年目まで有償点検を実施する。

### 4. 2 保全計画書

維持保全計画 (標準的な対応)

35年維持保全計画書を基に通常のアフターサービスの他、長期保守点検計画を作成し、顧客への保全計画のアドバイスなど、サポートを行う。

### 4. 3 その他

(1)保証体制：自社保証

(2)保険機関：住宅保証機構(株)などの指定住宅瑕疵担保責任保険法人